

学習内容報告書 フォーマット

学校名	関西大学北陽高等学校
授業者	花井 英子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

100年後の海へ ～ 私たちに、今できること～

1-2. 学年

高校2年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

保健体育、特別活動

1-4. 単元の概要

本校は、2017年度より海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加させていただき、NPO 法人環境教育技術振興会／NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターご協力の下、阪南市立西鳥取小学校と協働で「アマモ場再生」に取り組んできた。

本年度は、保健の授業を中心に様々な環境問題が海洋問題に繋がっていることを理解させ、SDG s 14 と他 16 の目標を1つ以上連携し、各グループで研究テーマを設定させた。そこから「海洋保全」に対する意識の向上、「海洋環境にやさしいライフスタイル」を提案できる能力を養い、さらには ICT 機器を利用した資料の作成とその発表により対外的に発信できる人材の育成に取り組んだ。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

「海洋教育」は知り・気づき・伝えることで、人々の興味、関心が高まり海洋保全、環境問題への意識が深まると感じている。保健3単元「社会生活と健康」においては、海洋問題が様々な環境問題や健康被害と繋がっていることを理解し、SDG s 14 と他 16 の目標を1つ以上関連づけ「海洋環境にやさしいライフスタイル」を提案できる能力を養いたい

1-6. 育みたい資質や能力、態度

G200SAKA へ参加してことをきっかけに、学んだことを発信する必要性を感じた。校内での学びを校内だけでなく対外的に発信することで、人と人が繋がり、活動そのものの内容が深いものへと発展した。私たちが見ることのできない100年後の海が、地球が、豊かであるように持続可能な地域づくりに貢献できる人材を育成する。

1-7. 単元の展開（全 10 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
4 時 間	①大気汚染と健康 ②水質汚濁と土壌汚染 ③健康被害の防止と環境対策 ④「SDGs」より研究テーマの設定	教科書を用いて、環境問題について知識を深める。 ・環境問題によって起こる健康被害 ・身近な環境問題と地球規模の環境問題 ・環境問題が起こる原因と対策 教科書：「現代高等保健体育」大修館書店 iPad：「ロイロノート」
4 時 間	探求型学習 情報収集・整理 課題の発見 「環境にやさしいライフスタイル」を提案する。	SDG s 14 とその他の目標の中から、グループ興味 を持てる内容と関連づけ、探求テーマの設定を行 う。 グループワークでは、異なる意見や考えがあるた め、メンバー内で互いを認め、協力しなければ活動 は進まない。その都度、教員や外部講師からのアド バイスは必要となる。
2 時 間	研究発表（海洋保全啓発） 海洋問題を解決する上で重要なことは、一人で も多くの人が、海洋問題を身近なものとして捉え、将 来の海のために日常生活を見直すことである。 グループで提案した「環境にやさしいライフスタ イル」を外部にて発表するなどの、海洋保全啓発 活動を実施する。	地域イベント参加・発表 地域のイベントにて、発表したいと考えていたが 本年度は新型コロナウイルスの影響を受け、イベン トが中止となった。 校内発表 1 グループを選出し「海辺の自然再生・高校生サミ ット」に参加した。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

SDG s 14 とその他の目標の中から、グループが興味を持てる内容と関連づけ探求テーマの設定を行う。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>探求学習「グループワーク」</p> <p>前時の学習をふまえ、SDG s 14 とその他の目標の中から、グループ興味を持てる内容と関連づけ、探求テーマの設定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集・整理する ・ 課題発見 ・ 「環境にやさしいライフスタイル」を提案する。 <p>○『有害物質の排出を防ぐ』 SDG s 6 「安全な水とトイレを世界中に」 目的：我々の周りで起きている水質汚濁は、私たちの普段の生活が影響していると考え、その原因を調べ「環境にやさしいライフスタイル」を提案します。</p> <p>○『土壌汚染による影響とその対策』 SDG s 12 「つくる責任 つかう責任」 目的：自分たちの利用している様々な製品により、自分達の生活が豊かになっている一方で、それらの不法廃棄などにより海の生物の生命を脅かす環境問題が起きている。私たちの班は、土壌汚染について調べ「環境にやさしいライフスタイル」を提案します。</p>	<p>○本時までの内容を確認させる《知識・理解》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題によって起こる健康被害 ・ 身近な環境問題と地球規模の環境問題 ・ 環境問題が起こる原因と対策 <p>私たちの生活が環境問題に、大きく影響していることを理解させる。</p> <p>○テーマの設定《関心・意欲・態度》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長会議 <p>それぞれの班のテーマが重なることのないように、グループの意見をまとめ班長会議を実施する。</p> <p>意見を出し合い、テーマが適切であるか考えさ、変更も可能であることを伝える。</p> <p>○グループワーク《創意工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探求型学習 <p>(1) 課題の設定 課題の検討⇒問題点を考えさせる。</p> <p>(2) 情報の収集、整理分析 参考文献、データを収集させる。</p> <p>(3) 結果をまとめる 発表資料の作成：ロイロノートにて情報交換、資料を作成させる</p> <p>異なる意見や考えがあることを理解させ、メンバー内で互いを認め協力できるようにアドバイスする。</p>

<p>○『気候変動と豊かな海』</p> <p>SDG s 13 「気候変動に具体的な対策を」</p> <p>目的: 私たちが普段遊びに行ったりする綺麗な豊かな海があるのに対して、ほかの地域や国では人間が色々な原因で、色々な環境問題を引き起こしています。その中でも気候変動による海面上昇について調べ、「環境にやさしいライフスタイル」を提案します。</p>	<p>○役割分担 《態度》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で分担して調べ、発表者、ICT 機器の <p>○発表の練習 《技能・表現》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad、プロジェクターを利用し随時、発表の練習ができる環境を整える。
--	--

3. 今回の活動の自己評価

本年度は、実施 2 年目であり昨年度の資料等が多く揃っていた。そのため、「海洋教育」に取り組む目的や、単元の設定理由、ねらい等を短時間で理解する生徒が多く見受けられ、生徒が主体的に情報収集し、その課題について深く考えることができたと感じている。また、あらゆる環境問題を身近な問題と捉え解決策を考えることができる生徒や、環境問題への関心が高まり環境を学べる進学先を考える生徒も増えた。本年度の活動は、100 年後の海、地球のために「持続可能な地域づくりに貢献できる人材を育成する」ことである。こうして活動を継続したいと考える生徒が増えたことは、たいへん喜ばしいことであった。

コロナ禍で思うように活動できない日々が続いたが、多くのお力添えがあり、たいへん良い活動となった。ご協力いただいた皆様に感謝し今後も海洋教育に取り組んでいきたい。

4. 今後の課題

今後は、自然との共存を目指し、私たちにできることに「挑戦する気持ち」と「やる気」を一人でも多く子どもたちに伝えたいと考えている。そのために、どのような環境下でも継続することが重要であると感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記事項なし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。